

# コロナに関わる生活アンケート

11月前半、コロナ禍の子供達の心の状態を把握するために、アンケートを実施しました。その結果をお伝えします。

## (1) 今、(コロナに関わって) 心配なこと、悩んでいることなどがありますか。

回答した382名のうち316名は「ない」、66名が「ある」と回答しました。

「ある」と答えた児童の割合は、全体の約17%です。

心配なことや悩んでいることの内訳を大きく分けると、

- ① コロナになるのが怖い。コロナが心配。
- ② おじいさんやおばあさんに会えない。友達と遊べない。
- ③ マスクやフェイスシールドの不便さ。換気をすると寒い。

他にも、「大きな声を出せない」「運動会がない」等がありました。

## (2) 学校の中で、楽しいなあと感じる時(こと)は、どんなとき(こと)ですか。

全学年を通して、ほとんどの児童が、「友達と遊ぶ時」「勉強している時」「給食を食べる時」と、書いていました。学年の特徴でいうと、1年生は「給食の配膳をする時」、2年生は「ブロッコリーの水やりや観察」、3年生は「体育をしている時」、4年生は「理科の実験」、5年生「合奏の練習」、6年生「ミュージカル」等が多くありました。誰もが、臨時休業の時のことを踏まえて、学校で友達や先生と過ごす当たり前の日常のありがたさを感じているようでした。高学年では、「心を一つにすること」「みんなの考えが聞けること」「みんなと会えること」「先生に頼られた時」「学び合い」「クラブ」「成功した時」といった声もありました。

以上のアンケート結果を踏まえて、三坂地小学校では今後も子供の心身の成長を見守り、身体の元気、心の元気を育てていく取組を進めてまいります。よろしくお祈りします。

理科で大きなふりこの実験を  
しましたよ。  
5年生



家庭科でエプロンを  
作ったよ。  
6年生

